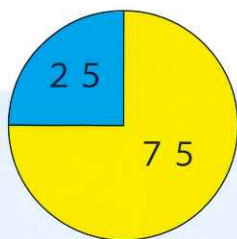


東山小コミュニティ事情

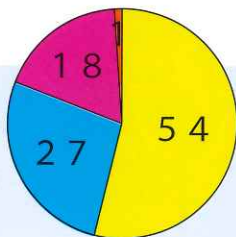
皆さんは『コミュニティスクール』という言葉を知っていますか？学校と保護者や地域の皆さんが、共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域と共にある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

①町会に加入している？



加入していない理由は、転入してどこの町会に加入すればいいかわからないなど

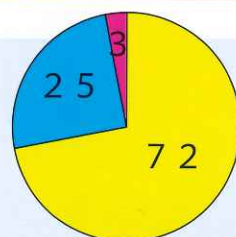
②どこの町会に加入している？



東山町会が圧倒的に多い

函館市でも平成31年度に全市立小学校、幼稚園、高等学校においてコミュニティスクールを導入しました。昔に比べ地域とのかかわりが、希薄になっている昨今ですが、核家族化、共働き世帯の増加により、子どもたちを見守る目が必要になっていると思います。私たちの身近な「コミュニティ（町会）」について保護者の皆様にアンケートにお答え頂きました。

③町会の行事に参加したことがある？



町会に加入している場合、行事にも参加多数。特に東山町会の行事は学校を通じてプリントも配布されるので、参加率が高い

町会に参加した方の感想

- 三世代が交流でき色々な体験ができて楽しい
- 毎年お祭りのくじ引きが楽しい
- 若い層の参加が少なく感じる
- 他年代の方との交流が貴重な機会と感じる
- 地域の中で生きていく実感がわく
- 行事で出してくれる料理が美味しい

町会に参加していない方の感想

- 行事の予定がわからない
- 仕事で忙しくて参加できない
- 町会加入の仕方がわからない

親子で、こういった行事に参加することにより、地域の子どもだと認識され、地域の方に見守って頂けることにつながっていく、子どもたちも、親やそこに住む方の姿を見て学ぶことが多いのではないかと考えます。

10月 運動会



町会と子どもたちとのふれあい行事

8月 ふれあい東山祭り



3月 新入生歓迎会



2月 豆まき



子どもは家庭でしつけ

コミュニティは地域の思いやりで成り立つ
あなたは参加していますか？

東山小学校のコミュニティスクール（学校運営協議会）

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6に基づき函館市所属の指定する学校（コミュニティスクール）に「学校運営協議会」を設置しています。

学校で学び、 地域で育つ

目的

教育委員会が協議会の委員として委嘱・任命した地域住民や保護者、教職員が一定の権限と責任を持って、知恵を出し合い協働して学校の運営に参画し子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校」の実現に取り組むものです。

内容

コミュニティスクールの校長は、次の各号に掲げる事項について毎年度基本的な方針を作成し、協議会の承認を得るものとしています。

1. 教育課程の編成に関する事
2. 学校経営計画に関する事
3. 組織編成に関する事
4. 学校予算の編成および執行に関する事
5. 施設管理および施設設備等の整備に関する事

構成

学校運営協議会の構成は、保護者・地域住民・学校の運営に資する活動を行う者・校長・その他、教育委員会が必要と認める者となっています。また、委員数は10名以内で任期は1年です。今年度の委員会は木村以久子委員長（東山町会総務部長）他、東山町会長、東山小元 PTA 会長、山の手児童館館長、現 PTA 会長、副会長、放課後児童クラブ代表2名、東山小学校長の9名で構成しております。

活動など

学校運営協議会は年間3～4回委員会を開催します。昨年度は4月、10月、3月、に実施しました。授業や各行事で子どもたちの取組等の参観や、地域での様子の交流などによって支援の在り方など討議しています。今年度も同様に、開催予定です。

また、校区の中学校や、近隣の小学校の学校運営協議会と連携して、目指す子どもの姿の実現にむけて、様々な支援等の取組を行っています。

広報部が聞いた！

木村委員長が伝えたいこと



東山小
コミュニティスクール
木村以久子委員長

〈広報〉「コミュニティ（地域と学校の連携）についてどう思われますか？」
これまでも学校と地域との連携は各行事、子ども見守り隊、登下校時街頭指導、スクールゾーン合同パトロール等で実践してきました。更に「学校と家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を多面的に支える」ために、相互理解・連携していくことは、とても大切なことだと思います。
〈広報〉東山小の子どもたちの印象は？
明るく元気。いざという時に協力し合って活動する、素晴らしい子どもたちです。

〈広報〉これからを担う世代に伝えたいことは？
子どもたちへ「思いは叶う」夢や希望をもつて努力するときに叶うと思います。自分を信じて、頑張ってください。
お父さん、お母さんへ「子どもは家庭でしつけ、学校で学び、地域で育つ」時代を越えて響く言葉です。子どもは、愛情いっぱい、手塩にかけて育てて下さい。そして、子育ては親も三倍以上楽しいです。
子どもは地域の宝。
地域はいつも子育て親子の身近な応援団です。
地域の方に見守られている、東山小の子どもたちは、真っ直ぐにこの先の未来へ進んでいくでしょう。
木村委員長、心に残るお話をありがとうございました。



婦人部の方たちは行事の時、2日前からお出汁を取り仕込みをしてくれています。おでんの味噌は3日前から

12月 餅つき



4年生合同 服を着たまま泳いでみよう (9月6日) ～着衣水泳体験教室～

本校プールにて『スポーツクラブネサンス函館』の先生3名を迎え、『着衣水泳教室』のレクリエーションを行いました。

『着衣水泳』とは、日常的に人々が陸上で着ている衣服を身に着けたまま、海や河川、湖やプールで泳ぐことです。水難事故のほとんどは服を着ている状態で起こります。水に濡れた時の衣服の状態や動きにくさを知り、衣服や持ち物に備わっている『浮力』の力を借りながら水に浮く方法を、ペットボトルを使いながら学びました。

また水難事故にあった時は『仰向け』になり、背浮きの状態で助けを待つ。岸にいる人は「浮いて待て!」と言って助けを呼びに行くことが重要だそうです。

子供たちは先生方と楽しく体験をしたり、時には真剣な表情で浮かぶ練習をしたり…。普段の授業では体験できない、万が一の時に役立つ、大変ためになるレクリエーションでした。



いろんな体験しました!

親子レク

思い出アルバム



5年生合同

(8月21日)

空気砲を飛ばしてみよう
～函館高専出前講座～



6年1組 お金のしくみを学ぼう
(8月27日) ～日本銀行出前講座～



3年2組 親子でパブリカダンス♪
(7月19日) ～ミニ運動会～



3年1組
(9月20日)

ゲームでわかるエネルギー
～ほくでん出前講座～



1年生合同 親子でいす取りゲーム
(11月22日) ～転がしドッチボール他～

